

活動報告（9月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村計画課

表題：浜松市浜名区引佐町で県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました

日時：令和7年9月8日（月）、9日（火）10日（水）、12日（金）

場所：静岡県浜松市浜名区引佐町



【静岡県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習の様子】

9月8日（月）、9日（火）10日（水）、12日（金）の4日間、浜松市浜名区引佐町で、静岡県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました。

演習では、果樹・花き・野菜などの生産に関心を持つ学生が、農山村地域で地域住民や関係機関との交流を通して、地域の現状や課題への理解を深め、地域とともに課題解決方法を考える力の習得を図ります。

対象地域での受入れは4年目で、今年は学生6名、教員、地域の代表者（観光協会・農家）、浜松市（農地整備課・農業水産課）、西部農林事務所農村計画課、（株）フジヤマが参加しました。

【行程概要】

8日（月） 引佐協働センターで、参加者の自己紹介、各関係機関から浜松市の農業・県のソフト事業・白檀の棚田の概要について説明を行い、都田川ダムに移動後、ダムの役割の説明を受けました。

9日（火） 令和4年度に白檀の棚田と一社一村しずおか運動の協定を結び、UAV（ドローン）撮影による情報発信や草刈り等で地域貢献に取り組む（株）フジヤマからUAVの説明があり、白檀の棚田でドローンの操作体験を行いました。その後、引佐町のイチゴ農家を見学しました。

10日（水） 引佐町のミカン農家と畜産農家の直営店を見学し、経営の観点からの営農戦略や直営店を経営する上での大変さ等を学びました。

12日（金） 当所から県営事業、浜松市から多面的機能支払交付金について説明を行いました。午後からは、白檀の棚田において、水路周りの点検と小動物侵入箇所の補修を行いました。その後、地域資源でもある竜ヶ岩洞を見学し、最後に演習の感想を交わしました。

学生からは、今回の演習を通して棚田の景観に感動した、平地の農地ではないことによる作業の大変さを知ることができたとの感想が聞かれました。

また、演習後も棚田の保全活動に関わっていきたいという感想を持った学生もおり、行政としても関係人口の増加に寄与する重要な機会であることを実感しました。

今後、10月下旬に棚田の稲刈り、2月に関係機関へのヒアリング等を経て、3月9日（月）に静岡県立農林環境専門職大学で成果報告会が予定されています。

西部農林事務所では、地域の魅力を発信し、農山村地域の地域活性化に向けた取組を推進します。